

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 東海 地域活性型住宅「木・陽の家」

グループの名称 東海 木の家づくりネットワーク

直近採択グループ番号 06-0722-0458

(グループ代表者)

代表者名	鈴木 龍一郎	代表者印
代表者所属先	材惣木材株式会社	
代表者所在地	愛知県海部郡飛島村木場1-25	
代表者電話番号	0567-55-0575	

(グループ事務局)

事務局事業者名	材惣木材株式会社	
事務局担当者名	伊藤 正博	印
事務局郵便番号	490-1444	
事務局所在地	愛知県海部郡飛島村木場1-25	
事務局電話番号	0567-55-0575	
事務局FAX	0567-55-1694	
事務局担当者E-mail	m.ito@zaiso.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	東海 地域活性型住宅「木・陽の家」
2. グループの名称(必須)	東海 木の家づくりネットワーク
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0722-0458
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県・岐阜県・三重県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	鈴木 龍一郎
7. グループ代表者の所属先(必須)	材惣木材株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県海部郡飛島村木場1-25
9. グループ代表者電話番号(必須)	0567-55-0575
10. グループ事務局事業者名(必須)	材惣木材株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	伊藤 正博
12. グループ事務局郵便番号(必須)	490-1444
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県海部郡飛島村木場1-25
14. グループ事務局電話番号(必須)	0567-55-0575
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0567-55-1694
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m.ito@zaiso.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	9	原木供給事業者の内、国外から供給される合法木材の原木供給事業者をグループ構成員に含めることが出来ない
II. 製材・集成材製造・合板製造	10	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	3	
V. 設計	5	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	あいち認証材	愛知県	愛知県産材認証材機構認証制度	1	国内
	岐阜性能表示材	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内
	「三重の木」認証	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内
	森林認証	国内	SGEC認証制度	2	国内
森林認証	国外	SGEC認証制度	2	国外	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)					戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)					戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟					
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)										
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸		
優良建築物型										
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸		
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 東海 地域活性型住宅「木・陽の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 東海 木の家づくりネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0722-0458	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・構造計算を行い、地震に強い家(耐震等級2以上)にする。 ・熱等性能等級4を満たし、大きな寒暖差に左右されない家とする。 ・ちの家(劣化対策等級3)に加え、長期にわたり建物の維持保全管理を行える住宅履歴を作成する。	・断 ・長持 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・指定地域材を主要構造部の50%以上に使用する。(必須) ・更に出来る限り主要構造部への地域材の使用を各部位ごとに50%以上を目指す。(目標) ・断熱性能等級4だけにとどまらず、この地域の日照率の高さを利用して、太陽光発電や太陽熱温水器を積極的に提案し、ゼロエネルギー住宅を目指す。(目標)	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・地域の気候・風土・文化を考慮し、良好な景観の形成に努める。 ・外観の一部に木、あるいは木目調のサイディング、または木調の格子等を取り入れる等、周辺との調和を重視したデザインとする。	◎
④①～③の背景	・愛知・岐阜・三重の気候は山間地域は冷涼であるが、夏季には高温多湿で四季を通じて日照率が高い地域である。 ・松・杉材を中心とした木材が産出され、東濃松・尾鷲松・三河杉などと呼ばれ多くの生産地がある。 ・東海・東南海・南海の運動型巨大地震の発生する可能性が高く、その場合は甚大な被害がおよぶことが想定される地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・合法木材、あるいは森林認証材を使用し、持続可能な資源・環境のために最善を尽くす。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会、意見交換会を主催者として実施する。 WEBサービスあるいは電子メールを活用して、定期的な情報発信を行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない □ ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、各構成員からの意見交換及び情報交換の場を設ける。 その中で「グループの信頼性向上」をテーマとした議題を設け、断続的な活動としていく。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 定期的に週休2日制の導入に関する情報発信を行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、経験年数等に応じた表彰制度の導入を奨励する。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、未加入事業所に対し加入を勧める。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、健康診断の実施を奨励する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 東海 地域活性型住宅「木・陽の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 東海 木の家づくりネットワーク	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0722-0458		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅に必要な記録を適切に保有すると共に、グループ事務局の要請に基づき、履歴情報を提出すること。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局を通じて適宜確認する。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期にわたる維持保全計画書を作成し、それに基づいて点検する。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基本構造部(基礎・柱・床・屋根等)と雨水の浸入を防止する部分について、10年間は点検の結果、不具合等があった場合、各物件を担当した施工会社にて無償で補修する。各部位における補修の推奨時期を一覧表にしてグループで共有する。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検チェックリストを点検後に提出する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、各構成員からの意見交換及び情報交換の場を設ける。その中で「維持管理」をテーマとした議題を設け、断続的な活動につなげる。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅完成保証を付保し、住宅の完成及びお施主様への補助金の受け渡しについて確実に遂行する。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会の開催に合わせ、各構成員からの意見交換及び情報交換の場を設ける。その中で、「瑕疵」をテーマとした議題を設け、継続的な活動につなげる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の連携強化と各構成員のスキルアップの為に勉強会を開催する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の連携強化と各構成員のスキルアップの為に勉強会を開催する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 1	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 1	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ加盟各社への定期的な情報発信の中に、省エネ技術講習会の案内を入れ、積極的な講習会への参加を促していく。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 教育機関やメーカー等が主催する研修会等へ積極的に参加し、新たな技術等の導入や開発に生かしていく。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 東海 地域活性型住宅「木・陽の家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 愛知県・岐阜県・三重県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 東海 木の家づくりネットワーク	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0722-0458	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。